

SOC方式マッチング(コンテナ・シェアリング)推進資料

NYK Line - Container Tracking: Search Results - JR貨物情報システム部

http://www2.nykline.com/ct/containerSearch.nyk;jsessionid=jLMRRs3WVrzH4yIvh6TPILjZmh?

NYK LINE
NIPPON Yusen Kaisha

HOME | GLOBAL NYK | LINER | LOGISTICS | RORO | TERMINAL | EDI | VENDOR | HELP

containerTracking

Container Search Results

Container OOLU7879054

Status As Of	Event	Location	Mode
APR-14-2013 07:55	Discharged from vessel at last port of discharge	Hong Kong, HKG	SANTA BARBARA/304
Event Date	Event	Location	Mode
APR-14-2013 05:00	Vessel Arrival	Hong Kong, HKG	SANTA BARBARA/304
APR-10-2013 03:35	Vessel Departure	Singapore, SGP	SANTA BARBARA/304
APR-10-2013 00:17	Loaded on vessel at port of transshipment	Singapore, SGP	SANTA BARBARA/304
APR-07-2013 19:50	Discharged from vessel at port of transshipment	Singapore, SGP	MOL COURAGE/006
APR-07-2013 15:05	Vessel Arrival	Singapore, SGP	MOL COURAGE/006
MAR-28-2013 02:22	Vessel Departure	Tokyo, JPN	MOL COURAGE/006
MAR-28-2013 02:20	Loaded on vessel at first port of load	Tokyo, JPN	MOL COURAGE/006
MAR-19-2013 16:21	Arrived at first port of load	Tokyo, JPN	Truck

インターネット | 保護モード: 有効

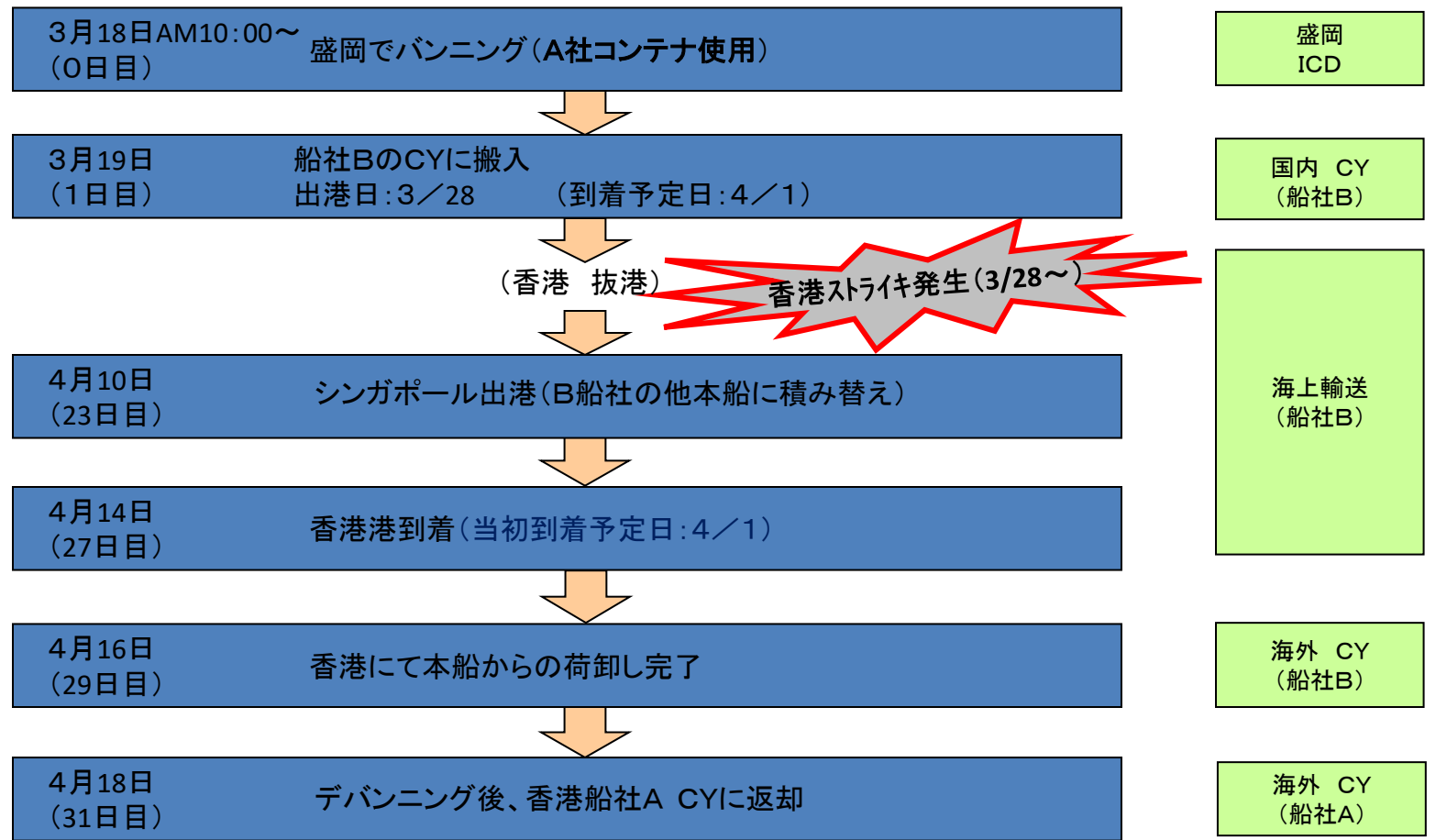
コンテナシェアリング試験輸送結果

3月18日に盛岡を出発したシェアリングコンテナは、途中香港での想定外の港湾ストに遭遇したが、B社本船にてシンガポール経由で無事香港に到着。デバンニング作業終了後、船社Aの所定CYに返却され、実験終了。

シェアリングコンテナの動き

輸送経緯

コンテナの所在



関係者のメリット

輸出企業

- **陸送費用低減**
- CO2 排出枠確保
- 空コンテナ手配の効率化
- リードタイム短縮

SOC船社

- 他社コンテナでの**運賃収益**

陸運企業

- 空コンテナ差し替え負荷低減
- **ドライバーの不足**
- **燃料代削減**

コンテナ所有船社

- **低コストでの海外回送**
- **コンテナ回転率向上**
- 積み地ハンドリングコスト削減

手順

1. 空コンテナの存在と品質確認
2. フリーユース条件確認
3. 確認書での荷主との合意
4. SOC受け船社に船腹予約
5. 船積み実施
6. 仕向地でデバン後、所有船社に返却

通常モデル適用

検討会



通常使用船社K社



デポからコンテナ供給

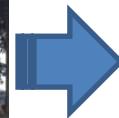


コンテナシェアリング国内フロー

3本口の1本がSOC



工場バンニング



使用船社シール使用



東京港経由で上海に

確認書記載事例

お申込日：平成24年5月28日

【コンテナ・シェアリング確認書】

貴社名： ○○株式会社

ご担当者：

ご確認内容

1.コンテナお渡し場所及び返却場所

お渡し地： OOCL山形デポ(TKY14 YAMAGATA ICD) 山形県西置賜郡白鷹町大字十王3221 担当：大木様、新野様0238-86-0088

ご返却地： SOCT depot, JunGong Rd. No.4049 Block D, Shnghai. contact Person:Mr.Xue via 56441727*126

※弊社手本からのコンテナお引き渡しは検査済コンテナを車上渡し(検査料とリフト・オコストは弊社負担)にて行います。

※返却場所はOOCLが通常使用している**現地ハブプール**となります。

2.ご利用コンテナタイプと本数

20ft 2本/40ft 本/40ft背高 本

Auth#:C121850JPN101 (許可番号) Ctnr #:1287799_OOLU1873188 (2x20GP)

3.使用船社、船名、B/L番号

船社名:K'line ltd 本船名:LOS ANGELS BRIDGE V.022S Booking番号:JPTA302775 ご担当:

※コンテナトレス等が必要となります。船積み後のご連絡で結構です。

4.利用期間

ご利用日数:30日(※取り決め期間を超えた場合はチャージが発生する場合があります。できるだけ早めの返却をお願いします。)

5.備考

仕向け地での返却の予定が分かり次第、弊社までご連絡願います。こちらからもSOCTIに事前連絡します。

返却にはKL様ターミナルからの見入り搬出用EIRをご利用いただけます。

6.船社関係者連絡先

K'Line (Japan)Ltd. 郷様 03-3595-5166、インベントリー・トラフィック業務グループ 黒岡拓己様 03-3790-9057

OOCLオペレーション部、清水 080-3359-5322 藤本 080-4365-0861

7.日本側通関業者様

社名:郵船ロジスティクス東北株式会社 担当者:遠藤 様 TEL:023-686-3061

8.現地でのコンテナ 取り扱い業者様連絡 先

本号変更届出書への記載合意書 ※税関からの要請書類で今回、OOCL→OOCLロジスティクス→東北ハブプール→Klineとなります。

前記1の輸送区間においてOOCL社、山形デポからK'Line (Japan)Ltd.社、東京CY区間の管理者となる事、合意いたします。

社名:東北ハブプール 担当者名:物流管理課 菅原(kazuhiro.suzahara@post.pioneer.co.jp)・斎藤(shinichiroh.saitoh@post.pioneer.co.jp)

区間、日数、船積み情報、返却場所、関係者リスト